



【キンミズヒキ】
 タネの上に、もじやもじやした固い毛がたくさん生えています。この部分が衣類にからみつきます。雑木林の中に生えています。



ひっつき虫を知っていますか？



ひっつき虫は、植物の種子です。種子は、いろいろな方法で、親の植物から離れた場所に分布を広げ、子孫を残そうとします。ひっつき虫は、ほ乳類の毛や、鳥類の羽にからみついて、遠くまで運んでもらう方法を発達させた植物なのです。

秋の河原や林の中を歩くと、ズボンや靴下に何か小さなものがたくさんひっついてきます。チクチク痛かったり、ベトベトしていたり。衣類にしっかりからみついて、かんたんには払い落とせません。

そんなひっつき虫の正体は、草の実(種子)です。目を近づけてじっくり見ると、いろいろな種類のひっつき虫があつて、からみつくためにそれぞれ面白い形をしているのがわかります。いったい、なんのためにひっつくのでしょうか？



【コセンダングサ】

タネの上に突き出たつのは、下向きギザギザした歯がついて、しっかり衣類に食い込みます。アメリカセンダングサは水田のまわりに、コセンダングサは道ばたや空地に多い草です。

【アメリカセンダングサ】



【チヂミザサ】

「のぎ」と呼ばれる長い毛にはベトベトの液がついていて、どこにでもひっつきます。庭や公園、雑木林などのちやうど暗い場所に生えます。

【ヌスビトハギ】
 平たいさやの表面に、びっしりと細かいちぢれた毛が生えていて、衣類にびったりと貼り付きます。雑木林の中に生えています。



【コセンダングサ】

【オオオナモミ】
 全体に長いトゲが伸びていて、その先は内側に曲がっています。どの方向からでもひっつくことができます。水田のまわりや河原の湿った場所に生えます。



【ヌスビトハギ】



【チヂミザサ】



【キンミズヒキ】



【オオオナモミ】



【アメリカセンダングサ】



オータムフェア 10/7sun・8mon

AUTUMN FAIR '01

秋の休日のひととき ご家族そろって出かけください。

相模原麻溝公園

オータムコンサート 7日(日)ふれあいドーム
 相模原音楽家連盟によるトランペット演奏などによる楽しいコンサートです。
 午後1時30分～午後2時と午後2時30分～午後3時の2回
 竹トンボ講習会・竹馬試乗会 7日(日)・8日(月)みどりの広場
 竹トンボ作りとお父さんには懐かしい竹馬乗りが体験できます。
 午前10時～午後3時30分
 花の種の無料配布 7日(日)・8日(月)センター広場
 金魚草、スイートピーなど秋蒔きの花の種を無料配布します。
 (各日先着2,000名)
 午前10時と午後1時の一日2回
 花・植木・野菜類と竹細工の展示即売 7日(日)・8日(月)水の広場
 相模原市緑化木生産組合、相模原造園協同組合、相模原市農協麻溝支店
 による花、植木、野菜などの展示・即売で通常の価格より廉価で提供します。
 午前10時～午後3時30分
 秋の公園スケッチ会・展示会 8日(月)スケッチ会場・麻溝公園内
 子供の部(小学生以下100名)と一般の部(中学生以上50名)いずれも先着順)に分け、秋の公園内のスケッチ会を行います。
 午前9時30分～雨天の場合は中止 当日は9時30分までにセンター広場
 で申し込みを行ってください。子供の部参加者には、クレヨンと画用紙を
 贈呈します。一般の部参加者は各自画材を持参ください。展示会は9月
 8日～31日(子供の部)、11月1日～30日(一般の部)の日程で麻溝公園管理
 事務所ホールにておこないます。

ウッドチップの無料配布 7日(日)・8日(月)水の広場
 相模原造園協同組合によるウッドチップの無料配布をおこないます。
 午前10時～
 陶器・木工製品の展示・即売 7日(日)・8日(月)水の広場
 相模原市障害者地域作業所等連絡協議会が市内各所の地域作業所で作
 っている各種製品を展示・即売します。 午前10時～午後3時30分
 園芸豆図鑑「洋ラン」の無料配布 7日(日)8日(月)管理事務所ホール
 (財)相模原市みどりの協会が今年度の園芸豆図鑑として作成した小冊子
 を無料配布します。(各日先着1,000名に配布) 午前10時～
 よさこいの上演 8日(月)センター広場
 清新「よさこい」チーム「THE 翼」による「よさこい」の上演。
 午前11時～11時30分と午後2時～2時30分の2回 雨天中止
 秋の動物フェスティバル 8日(月)ふれあい動物広場
 ポニーの無料乗馬、人形劇、モルモットルーレット、てい鉄投げ、動物ペンダ
 ントなど楽しい催しがいっぱいです。 午前9時30分～午後3時30分
 アサミゾ ウルトラクイズ 7日(日)センター広場
 公園を歩きまわりながら10問のクイズに答えていただき、全問正解者(先着
 100名)には素敵な景品を差し上げます。 午前11時～
お願い フェア中は会場周辺が非常に混み合うことが予想されます。
 ご来場の際はバスなど公共交通機関をご利用ください。
 JR相模原駅から相武台前駅行きバス「総合体育館前」下車
 小田急相模大野駅から女子美術大学行きバス「総合体育館前」下車

相模川自然観察会 ~磯部・新戸編~

参加者募集

相模川の近くに自生する薬用植物などを観察します。

日時 平成13年10月20日(土)午前9時～12時
 小雨決行、荒天中止
 会場 相模川・磯部頭首工付近 集合は、JR相模線下溝駅または
 三段の滝下多目的広場(駐車場)
 講師 北里大学薬学部附属薬用植物園助手 渡辺高志氏ほか
 定員 40人(応募者多数の場合は抽選)
 費用 無料
 応募方法 往復八ガキに住所、電話番号、氏名、年齢をご記入のうえ
 10月10日(消印有効)までにみどりの協会「相模川自然観
 察会係」へ。

親子自然観察会の参加者募集

「どんぐりを中心に、秋の森の様子を観察します。」

日時 平成13年10月28日(日)午前9時～12時
 会場 横山公園～横山丘陵(姥沢)
 雨天の場合は、室内(横山公民館)でスラ
 イドを使った講習になります。
 講師 相模原市立博物館 学芸員 秋山幸也氏
 対象 親子(小学生以下)
 定員 20組(応募者多数の場合は抽選)
 費用 無料
 応募方法 往復八ガキに住所、電話番号、親子の氏名、
 年齢をご記入のうえ10月12日(消印有効)
 までにみどりの協会「親子自然観察会係」へ。



「ここに住んでよかった」と みんなが思える街に。

東林地区* ふれあい花ロード

市内東林地区の住宅街に「ふれあい花ロード」と呼ばれている、延長約100メートルの道路があります。街路樹のまわりや、道路脇の広さ約百二十平方メートルの花壇には四季折々の花が植えられています。手入れをしているのは東林間自治会老人会、翠ヶ丘自治会老人会と、東林小学校の児童たち。この「ふれあい花ロード」が誕生したいきさつや日頃の活動などについて、母体となっている東林地区自治会連合会の会長である小堀富二さんと、東林間自治会老人会代表の加藤仁義さん、翠ヶ丘自治会老人会代表の木内しず子さん、東林小学校教務主任の大村和明さんにお話をうかがいました。



雑草の茂った道路残地が花の絨毯に

左から加藤仁義さん、木内しず子さん、大村和明さん、小堀富二さん



「街づくり」の話し合いから生まれた活動

この道路が整備されたのは十年ほど前のことで、街路樹のハニミズキが植えられている普通の道路でした。活動の発端は市の総合計画。東林地区の街づくりをどのように進めていくかを市に提言するために、地域で委員会をつくらせて話し合いをしました。「その時のみんなの希望が、きれいな街、住んでよかったと思える街、ゴミのない街にしたい」ということでしたので、取り組みのひとつとしてこの活動が始まりました。今、花壇にならっている場所は道路が整備された時の残地で、雑草がはえ、ゴミも捨てられていました。花を植えればきれいになるし、ゴミも捨てられないだろうとの考えから花壇をつくることにしました」と小堀さんは話します。

市からこの土地を借り、手入れは老人会と、そこを通学路にしている小学校にも依頼。花の種や苗はみどりの協会とみちの協会から配布されています。年間の活動内容をみんなで話し合いつて決め、毎月一回集まって植え込み草とり、水やりなどの作業を行います。また、活動日以外にも気のついた人が自主的に世話をしています。

老人会が児童に指導しながらの手入れ



道の名前は小学校の児童から募集して決めたもの。「活動への参加の依頼は、小学校としてもうれしい話でした。以前、子どもたちでこの場所に花を植えようとしたんですが、根づかずあきらめたんです。そんなわけで道の名前にもたくさんのお声がありましたし、子どもたちも学校の行き帰りに関心をもち、見るようになりましたね。春、花壇に菜の花がいつせいに咲いた時は感動したらしく、何人もの子が教えにきてくれました。活動については学校では何の強制もありません。今日の放課後、植え付けや手入れがあるから、と伝えるだけです。作業は5、6年生の授業が終わる時間に合わせているので他の学年からは雨が少ないので、ペットボトルに水を

入れて学校帰りに水やりをしたりもしていました」と話す大村さんです。

老人会の木内さんは、私たちが早く作業を終えてしまつと子どもたちから、もっとやりたかったと言われてしまつので、仕事を残しておくようなこともあるんですよ。草取りのやり方や植え付けの仕方、木や花の名前を教えたりすることもありますが、子どもたちも熱心にいろいろなことを聞いてきます」と話します。

捨てられる「ゴミ」に怒る子どもたち

「老人会ではこたけでなく、さまざまなかごで花の手入れなどをしていきますので、みんなで活動を分担しています。花が好きで熱心に参加している人も大勢います。でもみんなの協力があつてできることなんです。(道沿いにある)東林出張所でも水やホースを提供してくれたり、道具を保管しておいてくれますし、所長自ら花ロードの見回りや水やりもしてくれまして」と加藤さん。この道の散歩を楽しみにしている人や、「きれいですね」と声をかけてくれる人もいます。以前より「ゴミ」は減つたものの、それでも落ちてくるものがあります。

活動をとおして子どもたちの意識が変わってきたことがわかる、という大村さん。「花ロード」に「ゴミ」が落ちていたと怒ることがあります。自分たちで世話をしているからとくに目につくでしょう。きっとこの子どもたちは将来、「ゴミ」で街を汚したりする人間にはならないのではないかと思います。花に接するこつこつした活動も貴重な体験ですが、学校が地域との接点を持つということも非常に有意義だと思っています。」

みんなの力と行政の支援 両方が必要

「街の緑化や美化は地域に住む人たちの力はもちろんですが、行政の支援も必要で、両方なくしては成り立たないと思います。花を植えるとしても費用がかかることですから、花の種や苗を用意してくれる助成制度はありがたいものです。東林地区には以前粗大「ゴミ」であふれていた森もありました。そこも地域のみんなで掃除をし、市の協力で散策路などをつつたら大分、捨てられる「ゴミ」が減りました。今後きれいな街づくりのためにみなさんとともに取り組んでいきたいと思っています」と、小堀さんは緑化や美化についてこう話します。

* 花のまちづくり運動

財団法人相模原市みどりの協会では、自治会、老人クラブ、子ども会、幼稚園、保育園などの団体・グループが、地域の公園、自治会集会所周辺、緑道などに植える場合に限り、球根や花の苗などを配付し、花のまちづくりを進めています。みなさんの手で身近な花やみどりをもっと増やしてみませんか。詳しくはみどりの協会までお問い合わせください。

* 生垣設置助成事業

新しく「生垣」をつくる場合助成をします。「生垣」で環境に優しく潤いのある街づくり
生垣が作り出す緑の壁は、ブロック塀にはない、潤いある緑豊かな空間を作るだけでなく、地震や火災などの災害時には延焼防止の役割も果たします。
(財)相模原市みどりの協会では、新規に生垣を設置される方に奨励金を交付しています。この機会に自宅の塀やフェンスを生垣にしてみませんか。
交付の条件
次のすべてに該当すること。
市内の戸建て住宅(店舗併用住宅も可)、共同住宅の用地内に新たに生垣を設置すること。
その土地が幅4メートル以上の公道に接していること。
生垣の長さが3メートル以上であること。
市民税を完納していること。

対象	樹木の種類は生垣に適したもので、原則としてみどりの協会が推奨するものとします。また、樹木の高さは90センチ以上植栽は1メートルあたり3本以上です。
植栽基準	1メートルあたり5000円で、10万円を限度額とします。
奨励金	ただし、共同住宅についてはお問い合わせください。
手続き	みどりの協会、市役所みどり対策課などに置いてある申請書に記入して、みどりの協会へ、案内書も同所にあります。
注意	新たに生垣を作る人が対象で、作り替えは対象となりません。奨励金を受けるには事前に申請をし、交付決定を受けなければなりません。生垣設置後は良好に管理しましょう。

* 森林ボランティア講座受講者の募集

緑のボランティア活動に必要な、樹木の伐採や廃材の利用などを実習しながら学びます。
日時 平成13年11月18日(日)、12月15日(土)・16日(日)、平成14年1月19日(土)・20日(日)各午前9時~午後4時
講習場所 大野台公民館・木もれびの森ほか
講師 神奈川県自然保全センター 中川 重年氏ほか
参加資格 全回参加できる18歳以上の方
定員 30名(多数の場合は抽選)
受講料 無料
申込方法 官製ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号をご記入の上、10月15日(消印有効)必着でみどりの協会、森林ボランティア係へ。詳しいお問い合わせは(財)相模原市みどりの協会まで。